

事業計画

大阪の国際化に寄与し、大阪の国際競争力の強化を図るため、平成 28 年度に引き続き、若年者のグローバル化への対応を支援する「グローバル人材の育成」、大阪へ海外の活力を呼び込む「外国人の受入促進・活動環境の整備」、当財団のノウハウを発信していくための「国際交流情報の収集及び発信」の 3 つの柱で取り組んでいく。

1 グローバル人材の育成

(89,871 千円)

(1) おおさかグローバル塾等／実行委員会事業（負担金）

(57,600 千円)

① グローバル体験プログラム

大阪の高校がめざすグローバル人材を育成する取り組みのファーストステップとして、ホテルや空港カウンター等の模擬施設を活用した実践的な英語体験を行う。海外への興味を引き出し、生徒の英語学習意欲の向上を図るとともに、グローバルな感覚・能力を育成する。

[対象者] 府内在学/在住の高校生（原則クラス単位で参加）

[募集人数] 1,600 人～2,000 人

② おおさかグローバル塾

英語で日本や世界の文化・歴史、時事問題、プレゼンテーション・スキルなどを学び、世界の人々とコミュニケーションできる力を育てるとともに、海外への短期留学を行い、自信を持って留学生活を送る力を育てる。

・おおさかグローバル塾 Plus

[対象者] 府内在学/在住の高校 2～3 年生 英検 2 級程度以上・学校長の推薦

学位取得のための海外進学や、1 年程度以上の海外留学をめざしている者

[日程] 講座：日曜/休日 1 日 3 時間・年 60 時間以上

短期留学：2 週間

[募集人数] 32 人 [自己負担金] 176,000 円

<短期留学：英国（29 年 7 月～8 月）>

- ・ウエストロンドン大学（University of West London）
- ・オックスフォード大学（University of Oxford）
- ・リーズ大学（University of Leeds）

・豪州留学コース

[対象者] 府内在学/在住の高校 1 年生（開始時） 英検準 2 級程度以上・学校長の推薦

[日程] 講座：日曜/休日 1 日 3 時間（平成 29 年 7 月まで実施）

短期留学：13 日間（平成 29 年 3 月実施）

[人数] 20 人 [自己負担金] 136,000 円

- ③ おおさかグローバル奨学金
 海外進学のための渡航費・海外保険費用・授業料等を支援（1人50万円上限）
 [対象者] 府内の高校等を卒業した者又は卒業見込みの者で、学位取得を目的として海外大学への進学をめざす者（府内在住で他府県の高校等を卒業した者又は卒業見込みの者を含む）
 [募集人数] 20人 [募集時期] 29年9月（予定）
- ④ 海外研修引率助成金
 府内の高校、専修学校等を対象に、新規又は増員により、10人以上の海外研修を行う場合に、研修生10人あたり1人の引率者の渡航費・海外保険費用を助成する。（引率者1人30万円上限）
 [対象校] 府内の高校・高専・専修学校高等課程等
 [募集口数] 引率者15人分（1校あたり2人まで） [募集時期] 29年9月（予定）

(2) 国際理解教育の促進

(1,057千円)

- ① 国際理解教育の促進（1,057千円）
 府内学校の児童・生徒が外国に関心を持ち、様々な国についての理解を促進することをめざし、外国人留学生等を国際理解教育外国人サポーターとして登録し、府内学校等で行う国際理解教育授業の講師として派遣する。早期英語教育の動向をふまえ、高校から小中学校へシフトしていく。また、外国人サポーターへのプログラム研修を29年5月に実施する。
 [対象] 延べ50校（実派遣校36校・うち新規校4校） 5,900人（予定）
 [登録サポーター数] 100人（1回あたり謝金6,000円 うち派遣依頼校が1/2負担）
 [共催] （公財）大遊協国際交流・援助・研究協会

(3) 海外研修生受入事業

(8,363千円)

- ① 大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業の実施（8,063千円）
 建築家 安藤忠雄氏が第1回国際建築家賞を受賞された副賞を大阪府に寄贈されたことを契機に平成5年から記念事業として実施。建築・芸術分野を専門としているアジア諸国の若者を大阪に招き、日本の建築や芸術等を実地で学ぶ機会を提供し、日本文化等に対する理解を深める。また、海外からの研修生と日本の大学生が交流する機会を提供する。
 [実施時期] 29年9～10月（28日間）
 [対象者] アジア諸国の建築・芸術等を専門としている大学院生等 8人
 [プログラム] 企業研修、安藤忠雄氏建築物視察（淡路島・直島等）、大阪府研修近畿大学との建築ワークショップ等
- ② エセック経済商科大学院（Essec Business School）大学生研修支援事業の実施（300千円）
 大阪府の友好交流都市であるフランスのヴァルドワーズ県のエセック経済商科大学院大学生の日本での企業研修の実施にあたり、（公財）枚方市文化国際財団が中心となる実行委員会のメンバーとして参画する。
 [実施時期] 29年7月（予定）
 [実施主体] エセック経済商科大学院大学学生来阪研修事業受入れ実行委員会

2 外国人の受入促進・活動環境の整備

(122,110 千円)

(1) 留学プロモーション等の推進／実行委員会事業（負担金）

(21,475 千円)

① 大阪の情報・魅力発信事業

外国や府内の外国人に向けた多言語（日・英・中・韓）のポータルサイト「おおさかグローバルウェブサイト」を運営し、大阪の魅力やイベント、ビジネス、観光、留学、生活、行政、緊急防災など様々な情報を一元化し、大阪の魅力をワンストップで発信する。

② 海外での留学プロモーション（大阪留学プロモーションフォローアップ事業）

留学プロモーションを実施したベトナム、インドネシアにおいて、大阪への留学に関する現地ニーズに継続的に対応するため、ウェブ等を活用した現地語での大阪留学情報の提供や留学相談対応等を実施する。

③ 留学生就職支援事業

留学生と企業の相互理解を図るための取り組みを実施し、留学生が卒業後の進路として日本企業への就職を選択し円滑に就労できるようにする。

(2) 留学生の活動促進事業

(23,741 千円)

① 大阪府堺留学生会館オリオン寮の運営（22,095 千円）

外国人留学生を呼び込み、安心して勉学や多様な活動に参加してもらえるよう留学生寮を運営する。

[所在地] 堺市北区東上野芝町 2 丁 226 番

[室数] 85 室

[居室使用料] 月額 26,000 円（光熱費等を除く）

② 大阪府堺留学生会館オリオン寮活用事業（613 千円）

留学生の就職に関するニーズの把握に努め、就職サポート事業を実施するとともに、オリオン寮生をはじめとする府内留学生を対象とした防災訓練や館内の集会室を活用した地域との交流会などを実施する。

・留学生のための就職サポート事業

府内の企業への留学生の就職を促進するため、専門機関が実施する就職イベントと連携して、29 年 7 月に留学生のキャリアカウンセリングを実施する。（予定）

[共催]（公財）大遊協国際交流・援助・研究協会

・留学生向け防災訓練の実施

留学生が災害時に適切な対応ができるよう、29 年 6 月にオリオン寮生をはじめとする府内留学生を対象とした防災訓練を実施する。

・地域交流会の実施

5 月（ウエルカムパーティ）と 12 月（ウインターパーティ）に地元自治会等との交流会を開催する。

③ 留学生への特別入場証の発行（1,033 千円）

留学生の日本文化理解促進のため、関係機関の協力により、府内大学等に在籍する留学生を対象に美術館、博物館等へ無料で入館できる特別入場証を発行する。

[発行部数] 約 22,000 部

[共催] (公財) 大阪国際交流センター、(公財) 大遊協国際交流・援助・研究協会

(3) 外国人相談の充実等

(13,979 千円)

① 大阪府外国人情報コーナーの運営（4,233 千円）

府内に在住する外国人及び外国人と接する市町村等の窓口にて、9カ国語での相談対応や情報提供を行う。

[実施時期] 月曜から金曜の9時から17時30分まで（トリオフォンを利用）

[相談件数] 約 1,500 件（見込）

② 府内市町村等の外国人相談の強化（930 千円）

地域での外国人相談のモデル実施として府内市町村及び国際交流協会との共催による一日相談会を実施する。また、府内市町村での外国人向け相談窓口のネットワーク会議を開催するとともに、相談員・通訳者向けの研修を実施する。

[実施団体] 堺市、四條畷市、枚方市、泉大津市、茨木市等（予定）

③ 一日インフォメーションサービス事業（140 千円）

大阪法務局、大阪入国管理局等で構成する実行委員会が実施する在阪外国人のための一日相談会にメンバーの一員として参画する。

[実施時期] 29年6月

[開催場所] 大阪国際交流センター

[実施主体] 一日インフォメーションサービス実行委員会

④ コミュニティ通訳・翻訳ボランティアの活動促進（4,147 千円）

コミュニティ通訳・翻訳ボランティアの活動を促進するため、府内市町村国際交流協会等と連携して市町村の行政制度や専門知識について理解を深めるため研修を実施する。

[実施団体] 吹田市等（予定）

⑤ 災害時の外国人支援の強化（4,118 千円）

・ 高等教育機関向け防災ワークショップの開催

留学生が在籍する大学や専門学校及び市町村・国際交流協会の担当者を対象に、29年9月に災害時の活動経験についての講義と安否確認や帰国対応等の課題についてのワークショップを実施する。

[共催] (公財) 大遊協国際交流・援助・研究協会

・ 市町村国際交流協会等との連携

市町村国際交流協会等とともに外国人向け防災訓練を共同開催するとともに、災害時の通訳・翻訳ボランティア研修を実施し、ボランティア機能の充実を図る。

また、災害時に円滑に外国人支援が行えるよう、連携体制の強化を図る。

[実施団体] (公財) 箕面市国際交流協会等（予定）

・災害時通訳・翻訳ボランティア研修

大阪府と連携し、災害時に外国人の支援を行う災害時通訳・翻訳ボランティアを対象に研修を実施する。

[実施内容]

29年5～9月 「災害時通訳・翻訳ボランティアなるほどガイド」を活用した講義

30年1月 大阪府地震・津波災害対策訓練に参画し、災害時多言語支援センターの運営に関する実地訓練

⑥ OFIX ボランティア登録・派遣制度の運営 (288 千円)

ホストファミリー、語学ボランティア、文化ボランティアで構成する OFIX ボランティア登録制度を運営し、OFIX 事業のほか、公共的な団体等からの依頼に応じて派遣を行う。

⑦ 多言語情報の提供事業 (123 千円)

震災関連情報などの緊急情報、行政情報等の翻訳サービスの提供やその内容のホームページでの提供を通じ、留学生等外国人が住みやすい環境づくりを支援する。

3 国際交流情報の収集及び発信

(13,358 千円)

(1) 民間国際交流団体の活動促進

(75 千円)

① 近畿地域国際化協会連絡協議会、市町村国際交流協会等との連携促進

近畿地域国際化協会連絡協議会において災害時多言語支援センター設置訓練等を引き続き行う。また、市町村国際交流協会等との災害時外国人向け防災訓練の実施などの事業を通じた連携・情報交換を進める。

② ワン・ワールド・フェスティバルへの参画 (60 千円)

国際協力活動を行っている NPO/NGO や政府機関等が一堂に会するワン・ワールド・フェスティバルに OFIX 事業に関するブースを出展する。

[実施時期] 30年2月(予定)

[開催場所] カンテレ扇町スクエア・大阪市北区民センター・扇町公園(予定)

[実施主体] ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会

③ 関西国際交流ボランティアネットワーク会議 (KIV・NET) への参画

関西における国際交流ボランティア活動の発展・振興に寄与することを目的として設立された関西国際交流ボランティアネットワーク会議 (KIV・NET) の活動を支援する。(29年度の事務局は、(公財)大阪国際交流センター)

(2) OFIX からの情報発信

(4,255 千円)

① OFIX ホームページの運営等 (2,059 千円)

OFIX 事業や国際交流に関する情報をホームページ、フェイスブックで発信するとともに、OFIX ニュース (季刊) を発行し、印刷版と配信版(メールマガジン)で提供する。

② OFIX プラザの運営 (2,196 千円)

国際交流に関する図書、資料等 (約 5,000 冊) が活用できる情報提供体制を充実する。